

図書館内スペースに命名権

愛教大が募集 企業連携強化、財源確保



命名権の対象の一つ、付属図書館内の「ラーニングコモンズ」＝刈谷市の愛知教育大で（同大提供）

刈谷市の愛知教育大は二十八日、付属図書館内のスペース六カ所それぞれのネーミングライツ（命名権）

パートナーの募集を始めた。企業・団体名や商標名などを含む愛称を付けられる。民間との連携強化や財源確保、大学の知名度向上が狙い。

対象は、DVDが視聴可能で百人程度が自由に利用できる「ラーニングコモンズ」（広さ三百五十七平方メートル）、絵本や紙芝居がある「キッズライブラリー」（同六十三平方メートル）など。一角には企業・団体のPRコーナーやパネルを設けることができる。契約期間は十二月一日から三年で、最大二年延長可。命名権料の

目安はそれぞれ年四十万円から百五十万円。

大学ホームページから入手できる申込書と資料を十月十八日までに同大施設課資産管理係へ提出する。

付属図書館は地上三階建て、延べ床面積五千八百八十七平方メートル。蔵書約七十六万冊。現在は新型コロナウイルス感染症拡大で学外からの利用はできないが、二〇一九年度は地域住民らも含め十八万人が来館した。施設課資産管理係＝0566（26）2137

（神谷慶）